

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月1日

上場会社名 株式会社ジェイテック 上場取引所 東
 コード番号 2479 URL <http://www.j-tec-cor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 幸之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐野 清一郎 TEL 03-6228-7265
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	822	51.4	1	△67.0	2	△64.0	△14	ー
25年3月期第1四半期	543	4.5	5	ー	6	ー	△4	ー
(注) 包括利益	26年3月期第1四半期		△14百万円 (ー%)		25年3月期第1四半期		△4百万円 (ー%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△1.78	ー
25年3月期第1四半期	△0.56	ー

(注) 当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、平成25年3月期第1四半期の1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	1,222	482	38.6	56.49
25年3月期	1,087	505	45.5	59.24

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 471百万円 25年3月期 494百万円

(注) 当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、平成25年3月期の1株当たり純資産は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	ー	0.00	ー	200.00	200.00
26年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
26年3月期(予想)	ー	0.00	ー	1.00	1.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、平成26年3月期(予想)の期末配当額は当該株式分割の影響を勘案すれば平成25年3月期の期末配当と同水準となります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,562	43.2	12	9.1	12	0.1	△0	ー	△0.09
通期	3,193	18.7	77	20.6	78	18.4	49	3.1	5.87

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	8,349,600株	25年3月期	8,349,600株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,800株	25年3月期	2,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	8,346,800株	25年3月期1Q	8,346,800株

（注）当社は平成25年4月1日をもって普通株式1株につき200株の割合で株式分割しております。なお、発行済株式数（普通株式）は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末の政権交代後の経済・金融政策などを背景として、企業収益や個人消費動向に改善がみられております。しかしながら為替や株価は大きく変動するなど不安定であり、また欧州政府債務問題の継続、新興国経済の成長鈍化などの世界経済の減速懸念もあり、先行きは引き続き不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループでは昨年を上回る人数の優秀な新卒テクノロジストが入社いたしました。このため、当第1四半期連結累計期間においては、この新卒テクノロジストの研修期間中の人件費や教育・研修等の費用が増加したため、売上原価及び販売費及び一般管理費が前年同期より増加しております。しかしながら、当社グループの主要取引先である大手製造業では技術開発投資を継続しており、そのため技術開発や製品設計に対応可能な高いスキルをもつ技術者や、早期戦力化が見込める新卒テクノロジストへの需要は底堅く、順次派遣先が決定していることから、稼働率は引き続き高い水準を維持しております。

また、平成24年10月1日付で株式会社エル・ジェイ・エンジニアリングを連結子会社化したことにより、従来の機械・電気電子・ソフトウェア分野に加えて、新たに建築分野でのサービス提供を開始しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高822百万円（前年同期比51.4%増）、営業利益1百万円（前年同期比67.0%減）、経常利益2百万円（前年同期比64.0%減）、四半期純損失14百万円（前年同期は4百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①技術職知財リース事業

株式会社エル・ジェイ・エンジニアリングの連結子会社化により新たに建築分野の取引が加わったこと、及び自動車関連等の顧客企業からの取引が前年同期より増加した結果、技術職知財リース事業の売上高は798百万円（前年同期比50.0%増）、セグメント利益は77百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

②一般派遣及びエンジニア派遣事業

情報処理関連の顧客企業からの取引が前年同期より増加した結果、売上高は24百万円（前年同期比118.7%増）、セグメント利益は5百万円（前年同期比164.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産総額は1,222百万円となり、前連結会計年度末より135百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加、売掛金の増加によるものであります。

負債総額は740百万円となり、前連結会計年度末より158百万円増加いたしました。これは主に未払費用の増加、短期借入金の増加、賞与引当金の減少によるものであります。また純資産は482百万円となり、前連結会計年度末より23百万円の減少となりました。

なお、自己資本比率は38.6%と前連結会計年度末の45.5%に比べ6.9ポイント低下いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ120百万円増加（前年同期は86百万円の増加）し、653百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は67百万円となりました。これは主に賞与引当金の減少額54百万円、売上債権の増加額17百万円、法人税等の支払額17百万円等による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益2百万円、未払費用の増加額136百万円、未払金の増加額7百万円、退職給付引当金の増加額5百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は2百万円となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出1百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は55百万円となりました。これは主に配当金の支払額6百万円等による資金の減少があったものの、短期借入金の増加額62百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月7日公表いたしましたとおり、売上高3,193百万円、営業利益77百万円、経常利益78百万円、当期純利益49百万円としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	532,881	653,691
売掛金	364,467	382,188
繰延税金資産	33,935	35,085
その他	38,764	34,540
貸倒引当金	△666	△678
流動資産合計	969,382	1,104,828
固定資産		
有形固定資産	21,459	21,204
無形固定資産	6,448	6,416
投資その他の資産		
敷金及び保証金	73,071	72,736
その他	17,132	17,471
投資その他の資産合計	90,204	90,207
固定資産合計	118,112	117,827
資産合計	1,087,495	1,222,656
負債の部		
流動負債		
短期借入金	78,000	140,000
未払費用	90,053	226,065
未払法人税等	20,785	19,398
賞与引当金	111,465	56,552
その他	162,886	173,394
流動負債合計	463,190	615,410
固定負債		
退職給付引当金	115,314	120,790
その他	3,385	3,852
固定負債合計	118,699	124,643
負債合計	581,889	740,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,357	255,357
資本剰余金	248,495	240,148
利益剰余金	△11,801	△26,619
自己株式	△659	△659
株主資本合計	491,392	468,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,083	3,301
その他の包括利益累計額合計	3,083	3,301
新株予約権	460	460
少数株主持分	10,669	10,612
純資産合計	505,605	482,601
負債純資産合計	1,087,495	1,222,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	543,563	822,989
売上原価	385,115	640,377
売上総利益	158,448	182,611
販売費及び一般管理費	152,579	180,676
営業利益	5,868	1,935
営業外収益		
受取配当金	49	61
助成金収入	375	500
消費税等調整額	273	—
その他	5	18
営業外収益合計	704	579
営業外費用		
支払利息	134	193
営業外費用合計	134	193
経常利益	6,439	2,321
税金等調整前四半期純利益	6,439	2,321
法人税、住民税及び事業税	10,642	18,345
法人税等調整額	479	△1,150
法人税等合計	11,121	17,195
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,682	△14,874
少数株主損失(△)	—	△56
四半期純損失(△)	△4,682	△14,817

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,682	△14,874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143	218
その他の包括利益合計	△143	218
四半期包括利益	△4,825	△14,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,825	△14,599
少数株主に係る四半期包括利益	—	△56

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,439	2,321
減価償却費	1,904	1,924
のれん償却額	—	279
受取利息及び受取配当金	△49	△61
支払利息	134	193
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43,197	△54,912
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,525	△17,721
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,214	5,476
未払金の増減額 (△は減少)	543	7,017
未払費用の増減額 (△は減少)	97,145	136,012
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,106	1,750
預り金の増減額 (△は減少)	1,936	908
その他	△4,096	2,034
小計	52,555	85,222
利息及び配当金の受取額	49	61
利息の支払額	△294	△268
法人税等の支払額	△7,286	△17,238
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,023	67,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△985
無形固定資産の取得による支出	△565	△1,360
敷金及び保証金の差入による支出	△110	△86
敷金及び保証金の回収による収入	25,914	203
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,238	△2,228
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,000	62,000
配当金の支払額	△3,138	△6,497
リース債務の返済による支出	△163	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,698	55,261
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	86,960	120,810
現金及び現金同等物の期首残高	424,956	532,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	511,916	653,691

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	532,568	10,995	543,563	—	543,563
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	532,568	10,995	543,563	—	543,563
セグメント利益	80,949	1,913	82,863	△76,994	5,868

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 調整額(76,994千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	798,939	24,049	822,989	—	822,989
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	798,939	24,049	822,989	—	822,989
セグメント利益	77,516	5,069	82,585	△80,650	1,935

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 調整額(80,650千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。